

匝瑳市における令和3年度夏季の節電対策

〔 令和3年7月2日
匝瑳市省エネルギー推進本部決定 〕

1 国による電力需給見通しと電力需給対策

資源エネルギー庁が5月26日に公表した今夏の電力需給見通しによると、すべての電力管内で安定供給に最低限必要とされる予備率3%を確保できる見通しが示されました。

(=下表)

この中で、昨年度冬に電力需給のひっ迫が発生した事を踏まえ、発電事業者や小売電気事業者へ供給対策・市場対策に関する要請を行った上で、節電要請は行わないものの、無理のない範囲で効率的な電力の使用(省エネ)への協力を呼びかけるとしています。

令和3年度夏季東京電力管内の需給見通し

	7月	8月	9月
供給力(万kW)	5,750	5,756	5,298
需要(万kW)	5,544	5,544	5,073
予備力(万kW)	206	212	225
予備率(%)	3.7	3.8	4.4

〔 資源エネルギー庁「2020年度冬季の電力需給実績の振り返り及び2021年度夏季の需給見通し・対策について(令和3年5月26日)」から抜粋 〕

2 取組の方針

今夏は予備率3%が確保できる見通しであるものの、火力発電所の休廃止により多くの電力管内で供給力が減少しており、電力需給がここ数年の中で最も厳しい内容となっています。

このことから、匝瑳市においても7月2日(金)から9月30日(木)までの間、市職員自らが業務に支障がない範囲での節電に取り組めます。

3 取組の内容

市が管理する施設においては、次の取組を基本として節電を行います。節電の実施にあたっては、各施設における施設形態・利用方法等を踏まえ、利用者及び事務の執行に支障

がない範囲での節電を図り、使用最大電力及び電力使用量の抑制に努めます。

(1) 空調

- ①室内温度28℃を目安に、エアコンの運転台数・時間の適正管理を行う。
 - ②使用していないエリアの空調を停止する。
 - ③ブラインドや緑のカーテンを活用し、室内の温度上昇を抑える。
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、室内の換気を行います。

(2) 照明

- ①執務室エリアは業務に支障がない範囲で消灯を行う。
- ②使用していない範囲（会議室、廊下等）の消灯を徹底する。
- ③昼休みは、業務上特に照明が必要な範囲を除き消灯を図る。また、夜間における照明も、業務上必要最小限の範囲で点灯することとし、それ以外は消灯を徹底する。

(3) その他

- ①長時間席を離れる時は、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする。
- ②使用していないOA機器の電源プラグを抜く等により、待機電力を削減する。
- ③退庁時にはパソコンやプリンター、扇風機等の電源が切っているか確認を徹底する。

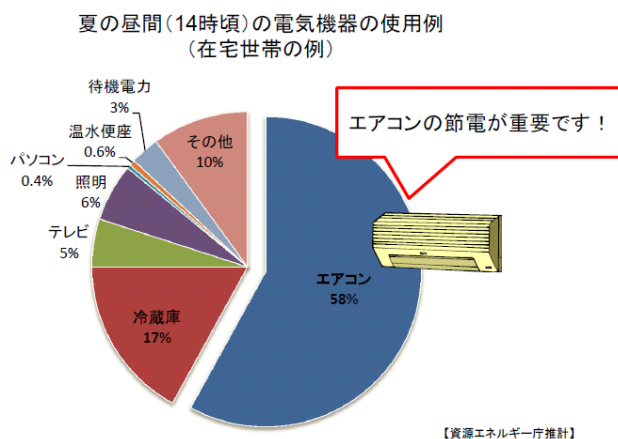
4 市民及び事業者への呼びかけ

ホームページを通じて、市民及び事業者の方々に対して日常生活や事業活動に支障が生じない範囲での無理のない節電を呼びかけます。

	家庭での取組	事業所での取組
空調	<ul style="list-style-type: none"> ・室温28℃を心掛けましょう。 ・無理のない範囲で、エアコンの使用をひかえ、扇風機を併用しましょう。 ・すだれやよしず、緑のカーテンなどで窓からの日差しを和らげましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していないエリアは、空調を停止させましょう。 ・扇風機やサーキュレーターを併用して空調の効率を高めましょう。
	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、換気とこまめな温度設定を行いましょう。	
照明	<ul style="list-style-type: none"> ・不要な照明をできるだけ消しましょう。 ・照明を交換する時は、消費電力の少ないLED照明に交換するよう努めましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していないエリア（会議室、廊下等）は消灯しましょう。 ・従来型蛍光灯を、高効率蛍光灯やLED照明に交換するよう努めましょう。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビは省エネモードに設定するとともに 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産設備などの定期的なメンテナンスを行

	<p>画面の輝度を下げ、必要な時以外は消しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変更し、扉の開閉は最小限にしましょう。 ・長期間使用しない機器についてはコンセントからプラグを抜きましょう。 	<p>い、ロスの低減を図りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理機器や業務用冷凍庫、冷蔵庫の設定温度の見直しを図りましょう。
--	---	--

《参考》



5 今夏以降の取組

平成28年度夏季以降、北海道エリアを除き国からの節電要請は行われていませんが、今冬は東京電力管内をはじめとする6電力管内で安定供給に必要な供給力が確保できないとの見通しも示されています。

こうした状況から、本市において継続して節電に取り組むことは省エネルギー対策及び地球温暖化対策の両面から重要であり、引き続き市職員が率先して取り組むこととします。